



オクスラド通信 第8号をお届けします。

皆様の温かいお祈りとともに、オクスラド基金へのご協力をいただきありがとうございます。2015年夏に創刊をいたしましたオクスラド通信ですが、今回の第8号は、お支えの中実施活動中の指定募金（トイレの洋式化）についての進捗状況を掲載させていただきました。ぜひお読みいただきご感想とご意見をいただければ幸いです。

●委員長

坂本 スミ子（石井寿美子）高64回生

●副委員長

杉山 修一（学校法人プール学院理事長）
鈴木 光子（一般社団法人 POOLE 理事長〈プール学院同窓会〉）
森 和枝（プール学院短期大学後援会長）
奥井 浩子（プール学院中学校・高等学校後援会長）
辻 早苗（プール学院中学校・高等学校PTA会長）
作野 理恵（プール学院短期大学学長）
内海 伸晃（プール学院中学校・高等学校長）
桜井 和之（学校法人プール学院法人事務局長）
成岡 宏晃（プール学院中学校・高等学校チャプレン）

●実行委員

古川 和子（一般社団法人 POOLE 〈プール学院同窓会〉）
大塚 陽子（一般社団法人 POOLE 〈プール学院同窓会〉）
五十嵐 よし子（プール学院ミツパ会〈短期大学・大学同窓会〉）
宮澤 喜代美（プール学院中学校・高等学校後援会副会長）
下村 智子（プール学院中学校・高等学校PTA副会長）
西尾 宣明（プール学院短期大学副学長）
赤土 壽典（プール学院短期大学事務局長）
藤本 雪絵（プール学院中学校・高等学校教頭）
杉原 享子（プール学院中学校・高等学校事務部長）
田中 幸一（学校法人プール学院総務部長）



勝山キャンパス 校内トイレ洋式化についてのご報告

勝山キャンパス

一昨年夏のオクスラド通信第5号におきまして、勝山キャンパストイレ洋式化ご協力をお願い（奥井浩子オクスラド基金副委員長記）を掲載させていただきました。その後の進捗状況につきまして、ご報告をさせていただきます。

『大阪でも人気の可愛い制服、滝のある美しい校舎のプール学院に足りないもの、それは「洋式トイレ」です。生まれた時から、洋式トイレで育ってきた子どもたちにとって勝山キャンパスの「和式トイレ」は、化石のような存在だったでしょう。《中略》生徒の教育活動等への影響が最小限ですむように、工事は、夏休み・冬休み・春休みの3期に分けて行われます。第1期工事が7月30日より開始。夏休み中に4階、2階、地下ラウンジ、清心館横トイレが洋式化されました。扉と床の色は生徒たちが決めました。』

皆様のご協力に感謝いたしますとともに、引き続きのご寄付とご支援をよろしく願いいたします。

※写真と文章は、プール学院中・高後援会機関紙花作鈴（カサリン）3号より、引用させていただきました。ありがとうございます。



トイレ全景



一般トイレ

多目的トイレ

オクスラド基金について

はじめに

英国聖公会の宣教師で「東洋女子教育協会」から派遣された、ミス・オクスラドが1879年（明治12年）6月2日に大阪川口居留地4番の自宅で女学校を設けたのが、プール学院のはじまりです。2019年に140周年を迎えるにあたり、本学院の歴史の歩みを確認しつつ、使命の実現に向けて、創立者名を冠とする基金を発足させ、創立150周年に向けてのさらなる発展充実の礎といたします。

目的と使途

創立150周年に向け、新たな発展を目指すための礎として、以下の目的と使途を考えています。

- * **教育研究の支援**：勝山キャンパス（中学校・高等学校）の保守と設備の充実、泉ヶ丘キャンパス（短期大学）の施設整備と改修をし、快適な教育環境をめざします。
 - * **特別活動の支援**：学生・生徒のボランティア活動やクラブ活動のより一層の積極的な活動をめざします。
 - * **奨学生への支援**：学生・生徒への奨学資金の充実をおこない、学びの支援をおこないます。
- 使途につきましては、オクスラド基金規程に基づき、オクスラド基金委員会で決定します。

目標

10億円

期間

2013年6月2日（134周年創立記念日）～2029年度末（150周年）
《第1期：2013年6月2日～2019年6月1日》
《第2期：2019年6月2日～2029年度末》

募金の方法について

● 個人の皆さまへ

〔ご入金方法〕

以下の方法によりご入金をお願いいたします。

① 銀行振込

銀行名：三菱UFJ銀行 今里支店
口座番号：普通預金 No. 1136329
口座名義：学校法人 プール学院

② 郵便振替

口座番号：00980-6-95144
加入者名：学校法人 プール学院

③ インターネットのご利用

中学校・高等学校および、短期大学のホームページからクレジットカードでご寄付がいただけます。

④ その他

直接にご持参いただくこと、またご自宅等へお伺いすることも可能です。

〔寄付金の免税措置について〕

寄付金の額が2,000円を超える場合には、その超える金額の40%相当額（所得税額の25%を限度）を個人の所得税額から控除ができます。詳しくは募金室までお問い合わせください。

● 法人の皆さまへ

- * 専用の振込用紙がございますので、誠にお手数ですが、募金室までご連絡をお願いいたします。
- * 寄付金全額を損金に算入できます。

◆ 遺贈によるご寄付について

オクスラド基金へのご寄付は、不動産・株式等の現物でも譲渡所得が非課税となります。
遺贈として本基金にご寄付をお考えの方は、募金室までお問い合わせをお願いいたします。
信託銀行等のご紹介も可能です。

◆ 私立の学校にとり、「募金」は教育活動の源泉です

「大学教育60周年記念募金」「勝山校舎建築募金」につきまして、多くの方々のお祈りとご寄付をいただき終了をいたしました。心から感謝申し上げます。
プール学院の「募金」は、入学時をお願いをいたしております「教育振興募金」と年間を通じての募金として、「オクスラド基金」の二つとなります。何卒趣旨をご理解いただき、積極的なご寄付をお願い申し上げます。

何かお気づきの点などがございましたら、誠に恐縮でお手数をおかけしますが、下記までご連絡を頂ければ幸いです。
なお、ご寄付により本学が取得しました「個人情報」につきましては、本基金に関する業務（お礼状・領収書の送付、ご寄付芳名録作成等）にのみ利用させていただきます。

オクスラド基金のご報告

ご確認のお願いを申し上げます

ご寄付の状況のご報告にあたり、ご確認とともに以下をご留意くださいますようお願い申し上げます。

* 下記「オクスラド基金受入状況報告」は、発足から昨年12月15日までにご寄付（ご入金）をいただいた件数・金額を掲載させていただいております。

* ご芳名につきましては、前回まで（2014年～2018年）と同様の分類（申込書に記載）に基づき、夏に発行予定のオクスラド通信第9号にて、ご掲載をさせていただく予定をしております。

* ご掲載方法の変更（辞退・掲載希望等）につきましては、お手数でございますが、5月末までにご連絡をお願い申し上げます。

オクスラド基金受入状況報告

2018.12.15. 現在（単位：件、円）

期 間 項 目	2017年3月31日までの受入		2017年度受入れ		2018年4月1日～ 12月15日までの受入れ		合 計	
	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額	入金件数	金額
1. 保 護 者	171	7,233,560	26	471,720	15	395,416	212	8,100,696
中学・高校保護者	150	7,010,560	25	466,720	15	395,416	190	7,872,696
内トイレ指定募金	0	0	3	50,000	2	10,936	5	60,936
大学・短大保護者	21	223,000	1	5,000	0	0	22	228,000
2. 教 職 員	221	16,603,302	30	869,000	24	1,217,000	275	18,689,302
教職員（現職）	110	6,589,332	9	450,000	16	1,090,000	135	8,129,332
内トイレ指定募金			5	165,000	11	420,000	16	585,000
教職員（旧職）	111	10,013,970	21	419,000	8	127,000	140	10,559,970
内トイレ指定募金			5	110,000	2	20,000	7	130,000
3. 同 窓 会	385	13,829,241	87	1,773,984	37	728,124	509	16,331,349
本部同窓会	302	11,141,898	84	1,495,510	33	439,414	419	13,076,822
内トイレ指定募金			18	286,000	4	85,000	22	371,000
ミヅバ会	78	2,512,000	1	200,000	1	200,000	80	2,912,000
支部など	5	175,343	2	78,474	3	88,710	10	342,527
内トイレ指定募金			0	0	1	20,000	1	20,000
4. 後援会（中学・高校）	40	3,177,586	10	1,280,000	6	1,051,080	56	5,508,666
内トイレ指定募金			2	50,000	3	931,080	5	981,080
5. 教会関係	5	670,000	2	20,000	1	10,000	8	700,000
6. 役員・評議員	27	2,730,000	18	390,000	9	75,000	54	3,195,000
役員・評議員（現職）	19	1,545,000	17	380,000	9	75,000	45	2,000,000
内トイレ指定募金			0	0	1	5,000	1	5,000
役員・評議員（旧職）	8	1,185,000	1	10,000	0	0	9	1,195,000
7. 企 業	11	1,512,000	2	550,000	3	153,000	16	2,215,000
8. そ の 他	34	716,615	12	179,572	7	71,600	53	967,787
内トイレ指定募金			0	0	2	24,600	2	24,600
合 計	894	46,472,304	187	5,534,276	102	3,701,220	1,183	55,707,800
内トイレ指定募金			33	661,000	26	1,516,616	59	2,177,616

皆様へのお願い。

今年の夏には、オクスラド通信第9号をお届けさせていただく予定でございます。
つきましては、内容につきましてのご意見ご感想等をお願い申し上げます。

キリスト教学校と寄付

理事長・学院長 杉山 修一

「受けるよりは与える方が幸いである」使徒言行録20:35

この言葉は使徒パウロがエフェソの人々との永遠の別れに際してイエスさまの言葉として伝えたものです。この言葉がキリスト教の歴史の中で献金や寄付を積極的に行う一つの根拠となりました。キリスト教の礼拝の中で献金を捧げる時に祈りの言葉として用いられることも多くあります。

プール学院の新たな発展を目指すことを願って創立134周年記念日である2013年6月2日から創立150周年を迎える2029年6月1日までの16年間もの長い募金期間に総額10億円の目標を掲げて創立者の名を冠した「オクスラド基金」の募金が始まりました。第1期を2013年6月から創立140周年を迎える2019年6月まで、第2期を2019年6月から創立150周年を迎える2029年6月までと2期に分けて募金を推進することになりました。創立140周年を迎える2019年6月が近づき第1期を終了するにあたり、「オクスラド基金」の意味と価値を再確認し、募金活動を活性化するために「キリスト教学校と寄付」について書くことになりました。

一般的に寄附に関して日本はあまり活発ではなく、キリスト教の価値観が浸透している欧米、特にアメリカとの比較で言うと、個人寄付はおよそ100倍以上もの差があるといわれています。Giving USAの調査によると「オクスラド基金」が始まった2013年時点のアメリカの寄付金総額は3,352億ドル、およそ35兆円を超えており、日本は3000億円程度でしかないとのことです。宗教的背景、文化的背景、政治的背景など理由は様々に考えられますが、やはりキリスト教の価値観である、自分を捨てて他者のために奉仕するという考え方が大きく影響していると言えます。かつてマイクロソフトのビル・ゲイツが数兆円規模の寄付を行ったことが話題になりました。高額所得者に限らず、年収10万ドル（1000万円）以上のアメリカ人のおよそ9割の人が寄付をしているとのことです。日本では年収5000万以上の所得の人でも1割程度の人しか寄付をしていないようです。

アメリカにイエール大学という有名な大学があります。1701年にThe Collegiate Schoolという名前で始まりますが、東インド会社の総督であったエリフ・イエールの多大な寄付を契機に、1718年にイエール大学と名前を変更しています。寄付に貢献した人の名を学校の名にしているという点に関し

ては私たちプール学院とも共通の歴史を持っていると言えます。プール学院もオクスラドによって永生学校の名前で学校が始まりますが、アーサー・ウィリアム・プール主教の尽力によって、多額の寄付が英国また日本で集められ新しい学校として歩み始める時にプール主教の名を学校名にしたのです。私立学校が学校の教育に共鳴する篤志家の支援によって運営されることの意義が校名に現れているということです。プール学院はその後も支援する人々の寄付によって支えられてきました。恐らくトリストラム校長の指導影響があったのででしょう。特に同窓会が頻繁に募金活動を行っています。1920（大正9）年10年計画で5万円を集める運動を始めています。この募金で現在プール幼稚園のある矢田の土地を購入しています。1934（昭和9）年には「母校増築助成資金募集」事業を5年計画で行っています。翌1935（昭和10）年には前年の室戸台風のために倒壊した校舎を復興するための「復興建築後援募金」を行い、音楽会、映画会などを関西また東京支部でも行っています。戦後1955（昭和30）年にアメリカ聖公会からの5万ドル（2000万円）もの寄付と併せて同窓会の寄付が行われ短期大学校舎が建てられました。1956（昭和31）年にも「清心館増築募金」を行っています。その後も同窓会は現在の「新校舎建築募金」にも多大の協力を行うなどさまざまな募金活動を展開して今日に至っています。ある意味で同窓会の歴史は募金協力、寄付集めの歴史と言っても過言ではありません。プール学院で学んだ同窓生の中にキリスト教の価値観である「愛と奉仕」の精神が強くあったことは確かなことです。近年は中学・高等学校に後援会も生まれ、学院への募金活動に大きな力となっています。キリスト教学校はその教育の中心に神さまの栄光を顕すための「愛に基づく奉仕の精神」があります。プール学院で学ぶということはそういう価値観を身に着けることだと言うことができます。

現在、「オクスラド基金」はまだ目標にはほど遠い実状ではあります。しかし、プール学院を愛する生徒・学生、保護者、教職員、そして卒業生たちの「愛と奉仕」の精神が学校を支えていることは紛れもない事実です。創立140周年に向けて、更に創立150周年に向けてオクスラド基金が豊かな実を結ぶことを期待しています。

学校法人 プール学院

プール学院中学校・高等学校・法人本部

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-19-31
電話 (06) 6741-7005(代) F A X (06) 6731-2431
ホームページ www.poole.ed.jp



プール学院短期大学

秘書科・幼児教育保育学科
〒590-0114 堺市南区横塚台4-5-1
電話 (072) 292-7201(代) F A X (072) 293-5525
ホームページ www.poole.ac.jp



一般社団法人 POOLE（プール学院同窓会）

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-11-43（プール学院会館内）
電話 (06) 6715-0820 F A X (06) 6710-4410
ホームページ www.poole-obog.com/



大阪府内の聖公会関連学校

学校法人 トリストラム学園 認定こども園 プール幼稚園
〒546-0023 大阪市東住吉区矢田3-2-18 電話 (06) 6698-7700

聖バルナバ助産師学院
〒543-0032 大阪市天王寺区細工谷1-3-18 電話 (06) 6779-1675

博愛社学園幼稚園
〒532-0028 大阪市淀川区十三元今里3-1-72 電話 (06) 6302-2095

桃山学院大学
〒594-1198 和泉市まなび野1-1 電話 (0725) 54-3131

桃山学院教育大学
〒590-0114 堺市南区横塚台4-5-1 電話 (072) 288-6655

桃山学院中学校・高等学校
〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町3-1-64 電話 (06) 6621-1181